

平成24年度 指定管理者施設管理評価シート

部 教育委員会事務局 課 児童保育課

施設名称		〔41〕 東京都台東区立松が谷児童館				
指定管理者の名称		社会福祉法人台東区社会福祉事業団	指定期間	H22.4.1 ~ H27.3.31		
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者福祉施設の管理・運営を行なう。					
(2)類似施設の管理実績	児童館7館、15こどもクラブ(平成23年末まで13こどもクラブ)					
(3)経営状況	(23年度決算ベース)〔社会福祉事業会計〕 収入2,801,147,502円, 支出2,609,179,684円, 収支差額191,967,818円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区松が谷4-15-11					
(2)設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。					
(3)利用者	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日：午前9：30～午後6：00、日曜日(第三日曜日を除く)：午前9：30～午後6：00一部開放。 休館日 年末年始、祝祭日(5月5日は開放)					
(5)規模	RC4階建て 3・4階 遊戯室・図書室・図工室・集会室・こどもクラブ室等 松が谷保育園併設					
(6)人員体制	常勤職員3名、短時間職員5名					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	児童の福祉を目的とする事業 児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 健全な遊びを通して児童の集团的及び個別指導を行なうこと その他、児童館の目的達成のために必要な事業					
(2)自主事業	自主事業は行っていない					
4. 予算決算の推移						
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
予算	委託料	37,556,000	38,030,000	39,537,000	36,926,000	38,220,000
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	37,556,000	38,030,000	39,537,000	36,926,000	38,220,000
決算	委託料	33,358,562	36,103,463	33,739,327	39,391,367	39,279,219
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	33,358,562	36,103,463	33,739,327	39,391,367	39,279,219
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称		単位	20年度	21年度	22年度	23年度
開館日数		日	334	333	334	335
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 (25年度)	21年度	22年度	23年度
利用者数		人	38,000	37,645	39,769	34,806

7. 平成23年度評価結果に対する現在までの取組み					
<ul style="list-style-type: none"> ・老人館や老人会、障害者団体、学校との協力と交流を通して多世代交流を積極的に図った。 ・幼児と小学生の混乱を分け、乳幼児向けの遊具を充実させるなど、両者が過ごしやすいような環境整備を行った。 ・行事の見直しを行い、日常活動の充実を図って、目的なく来館する児童の交流を支援した。 ・子どもの自主企画行事を実施し、小学生や中高生のボランティアの育成を図った。 					
8. 評価項目		3: 協定等の水準を上回っている。 2: 協定等の水準どおりである。 1: おおむね協定等の水準だが課題がある。	0: 協定等の水準を下回っている。 -: 評価対象外項目。		
評価の観点	評価項目				
(1)事業の運営 平均 [2.1]	(a)施設の目的達成 (b)サービス水準 (c)職員配置 (d)職員研修 (e)案内・接遇	[2] [2] [2] [2] [2]	(f)開館時間等の遵守 (g)自主事業の成果 (h)個人情報保護 (i)緊急時対応 (j)警備・防犯体制	[2] [-] [2] [3] [2]	
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 (b)備品の管理 (c)清掃・衛生管理 (d)施設の修繕	[2] [2] [2] [2]	(e)危険箇所等の確認 (f)管理記録の作成・保存 (g)業務委託の事前承認 (h)省エネ・省資源・環境配慮	[2] [2] [2] [2]	
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 (b)苦情・要望への対応と報告 (c)利用者数の目標達成	[2] [2] [2]	(d)利用しやすい環境整備 (e)関係団体・地域との関わり	[2] [2]	
(4)歳入歳出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 (b)経費縮減のための取組み	[2] [2]	(c)収支計画の達成 (d)利用料等の徴収・管理	[2] [-]	
9. 評価		S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。			
評価の観点	評価	説明			
(1)事業の運営	A	目的なく来館する児童をボランティアに育成し、子ども自主企画の運営に関わらせることで交流の機会を作るとともに、高齢者とのふれ合い等、多世代交流を行い、児童健全育成の拠点としての役割を果たしている。また、緊急時対応避難訓練を定期的に行っている。			
(2)施設の維持管理	A	遊具の点検・収納、整理整頓を行うとともに、年齢別の遊び場の区分け等の改善を図った。また、施設の修繕については、自主的に行い、適正な管理がなされている。			
(3)利用者の満足度	A	震災の影響により、利用者は減少したが、各年齢が充分過ごせるような環境整備、日常の充実や利用者交流の促進により、いきいきと遊びこむことが出来ているため、利用者からは良い評価を得ている。			
(4)歳入歳出	A	館内の環境を改善するため、小破修繕を行なったことで経費が増加したが、事務の効率化や消耗品の一括購入、節電・節水など職員全体で経費削減に取り組んだ。			
10. 総合評価		良好 妥当 要努力 要改善 不適			
		妥当	幼児親子の利便性を向上するとともに、小学生・中高生ボランティアの育成、高齢者とのふれ合いなど、利用者の交流を促進し、健全育成の拠点としての役割を担っている。		
11. 平成24年度評価結果に対する今後の対応					
ふらっと来館する児童の利用が次の活動への参加に繋がるよう、異世代・異年齢の交流をさらに図る。また、地域関係機関との連携を深めて、児童健全育成の拠点として、様々な活動の提供を行なう。					